2020年第26週 (6月22日~6月28日)

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

- ・ 新型コロナウイルス感染症の報告が10例(男性6例(30歳代3例,40歳代1例,50歳代2例),女性4例(10歳代2例,20歳代及び30歳代各1例))ありました。累積報告数は263例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
 - ○新型コロナウイルス感染症 最新の動向 https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html
 - ○京都市衛生環境研究所にゅーす 令和2年度 第1号(通巻139号)(特集! 新型コロナウイルス感染症!) https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf
- ・ レジオネラ症(ポンティアック熱型)の報告が1例(60歳代男性)あり,症状は意識障害です。感染地域は国内で, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例(70歳代男性)ありました。症状はショック, 肝不全, 軟部組織炎で, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は5例となりました。
- ・ 水痘(入院例)の報告が1例(60歳代女性)ありました。症状は発熱,発疹です。本年,初めての報告となります。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は2.19(94例)となり, 第23週から3週連続で増加しています。現在は流行している状態ではありませんが, 気温が上がり食中毒が増加する時期に差しかかっています。手洗いやうがいの励行, 食品の十分な加熱, 調理器具の消毒など予防に努めましょう。

◆ 今週のトピックス: <梅毒>

京都市の梅毒は第25週に1例の報告があり、本年の累積報告数は31例となりました。本市の梅毒の報告数は2015年頃から増加し始め、2017年以降は、ほぼ横ばいで推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・二類: 結核 4例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例 【1月以降の累積報告数 121例(肺結核 58例, その他結核 24例, 潜在性結核感染者 39例)うち喀痰塗抹陽性 27例】
- ・指定感染症:新型コロナウイルス感染症10例【1月以降の累積報告数 263例】
- ・四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- · 五類: 水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

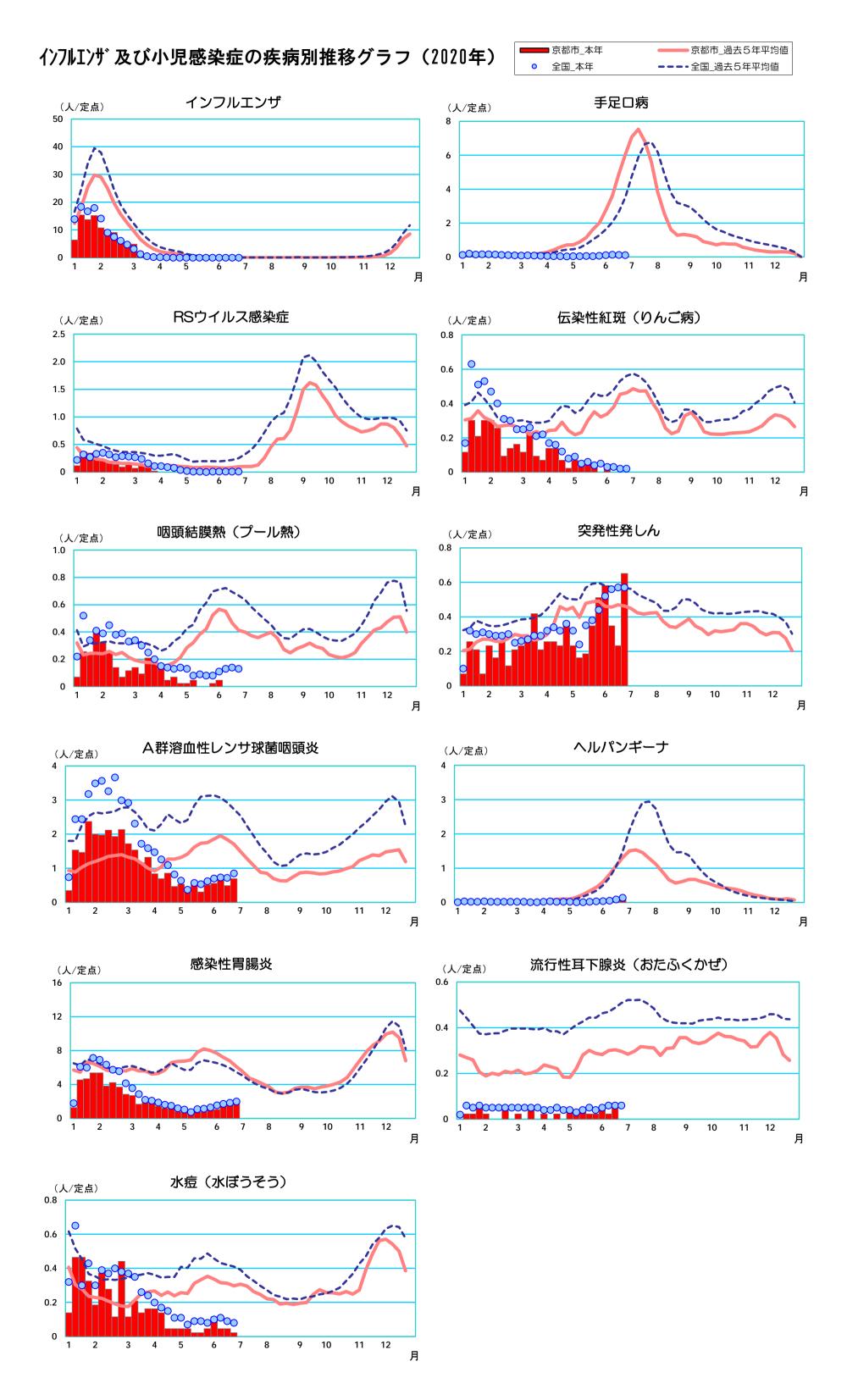
(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

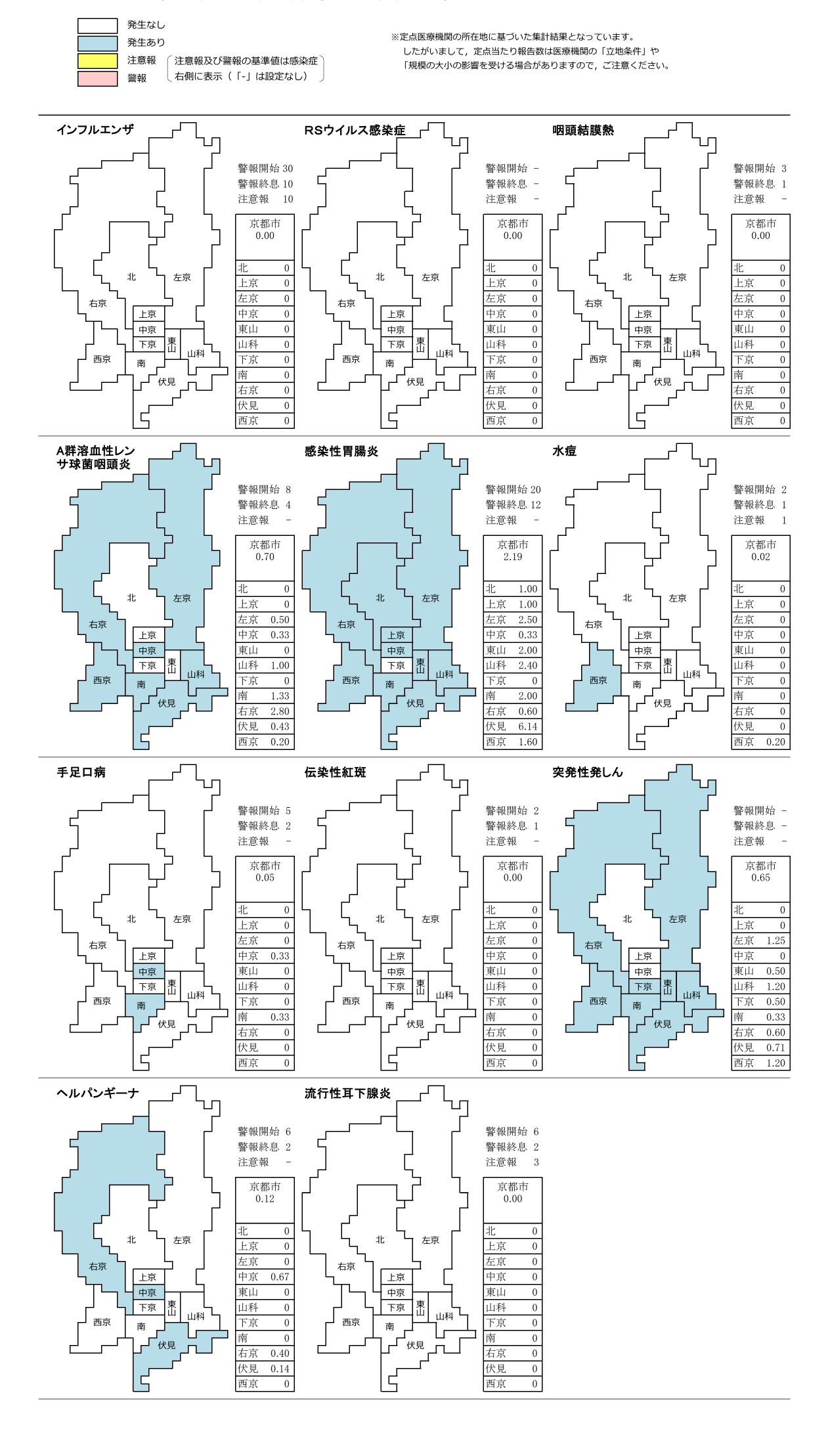
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンサ゛	インフルエンザ	0. 00	0
小児科	① 感染性胃腸炎	2. 19	94
(降順5位まで)	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 70	30
	③ 突発性発しん	0. 65	28
	④ ヘルパンギーナ	0. 12	5
	⑤ 手足口病	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0. 50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <梅毒>付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2020年7月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。 また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。 **感染地域及び感染経路については推定を含みます。





第26週(6月22日~6月28日)トピックス: <梅毒>

■京都市及び全国の発生動向

京都市の梅毒は第25週に1例の報告があり、本年の累積報告数は31例となりました。本市の梅毒の報告数は2015年頃から増加し始め、2017年以降は、ほぼ横ばいで推移しています。本年も上半期までの報告数が、昨年の約1/2となっており、昨年と同様の傾向が見られます。また、報告数の増加とともに女性患者の割合が増加しています(図1)。特に本年は、女性の報告数(17例)が男性(14例)を上回っています。全国では女性の報告数が男性を上回ってはいないものの、昨年と同様の傾向で推移しています(図2)。

近年, 梅毒は, 女性患者が増える中でも, 若齢女性の増加が問題視されており, 本年第26週までの京都市の報告数を年齢階級別・男女別に見ると, 男性は20歳代から50歳代まで年齢幅が広いのに対し, 女性は10歳代から30歳代までで女性全体の8割以上を占めています(図3)。また全国では若齢女性の増加がより顕著に現れており, 10歳代と20歳代で女性の報告数が男性を上回っていてます(図4)。

若齢女性患者が増加すると、治療しないまま妊娠し、胎盤を通して胎児に感染することが危惧されます。感染すると死産 や、早産、奇形が起こる先天梅毒の子どもが生まれるリスクが高くなります。先天梅毒の報告例も、若年女性の報告数が増 えるにつれて、徐々に増加しており(図5)、今後は啓発、予防、早期治療に注力しなければなりません。

■症状

梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。感染者の患部に含まれる梅毒トレポネーマが、主に性的接触により粘膜や皮膚の小さな傷から侵入し感染します。初期症状では陰部、口唇、口腔内にしこりができますが、無治療でも症状が消失するため、見逃してしまうことも多く、感染を自覚しないまま相手に移してしまい、蔓延の原因となります。数年から数十年の長期間の潜伏の後、晩期まで梅毒を放置していると心臓、血管、脳など複数の臓器に病変が生じ、死に至ることもあります。コンドームを使用する等で予防するとともに、皮膚や粘膜に異常があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

京都市では、平日及び土日の昼間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています(現在は予約制)。 詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」

https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000271215.html

図1 京都市の梅毒の報告数の推移(2012年~2020年26週)

図2 全国の梅毒の報告数の推移(2012年~2020年26週)





図3【京都市】年齢階級別・男女別の報告数(2020年1週~26週) 図4【全国】年齢階級別・男女別の報告数(2020年1週~26週)

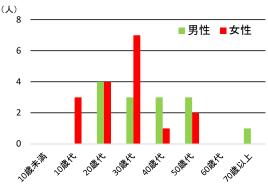




図5【全国】 先天梅毒の報告数の推移(2012年~2019週)



T3201

集計対象:2020年第26週

疾病 行政区别報告数

2020年6月22日~2020年6月28日

データ入手日・2020年7月1日

疾病,行政区别	发病,行政区別報告数 2020年6月22日~2020年6月28日											データ入手日:2020年7月1日									
男女合計	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎(※4)			
北	_	_	1	_	4	_	_	1	-	_	_	_	_								
上京	_	-	1	_	3	_	-	1	-	-		_	1								
左京	_	_	_	2	10	_	_	_	5	_	_	_	1								
中京	_	_	_	1	1	_	1	_	_	2	_	_	_	_	_	-	-	_			
東山	_	_	_	-	4	-	_	_	1	-	_										
山科	_	_	_	5	12	_	_	_	6	_	_	_	_								
下京	_	_	_	-	_	_	_	_	1	_	_										
南	_	_	_	4	6	_	1	_	1	_	_										
右京	_	_	_	14	3	_	_	_	3	2	_	_	3								
伏見	_	_	_	3	43	_	_	-	5	1	_	_	_								
西京	_	_	_	1	8	1	_	-	6	_	_	_	_								
京都市計	_	-	_	30	94	1	2	_	28	5	_	-	5	_	-	-	_	_			
	インフルエ	R S ウ	咽頭結	頭 A 炎群 溶	感染	水	手	伝	突	^	流	急	流	細	無	マ	ク	咸			
男女合計	ンザ (※1)	イルス感染症	結膜 熱	溶血性レンサ球菌咽	性胃腸炎	痘	足口病	染性紅斑	発性発しん	ルパンギーナ	行性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎	菌性髄膜炎(※2)	菌性髄膜炎	イコプラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎(※4)			
<u>男女合計</u> 北	ンザ (** 1	ル ス 感	膜	血性レンサ球菌	性 胃 腸	痘 -	口	性 紅	性 発 し,	パンギー	性耳下	性出血性結膜	行性角結膜	菌性髄膜炎 (※2	菌性 髄膜	プラズマ肺	ラミジア肺炎 (※3	腸炎 (※4			
北上京	ンザ ※ 1)	ルス感染症	膜熱	血性レンサ球菌咽	性胃腸炎		病	性 紅 斑	性 発 しん	パンギーナ	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎	菌性髄膜炎 (※2	菌性 髄膜	プラズマ肺	ラミジア肺炎 (※3	腸炎 (※4			
北	ンザ (※1)	ルス感染症	膜 熱 ———————————————————————————————————	血性レンサ球菌咽 -	性 胃 腸 炎 1.00	_	口 病 —	性 紅 斑 ————	性 発 しん -	パンギーナ	性耳下腺炎 -	性出血性結膜炎 -	行性角結膜炎 -	菌性髄膜炎 (※2	菌性 髄膜	プラズマ肺	ラミジア肺炎 (※3	腸炎 (※4			
北上京	ンザ (※1)	ルス感染症	膜熱	血性レンサ球菌咽	性 胃 腸 炎 1.00 1.00	- -	口病	性紅斑	性 発 しん - -	パンギーナ	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00	菌性髄膜炎 (※2	菌性 髄膜	プラズマ肺	ラミジア肺炎 (※3	腸炎 (※4			
北 上京 左京 中京 東山	ンザ (※1) - -	ルス 感染症 	膜熱	血性レンサ球菌咽 - - 0.50	性 胃 腸 炎 1.00 1.00 2.50	- - -	口病 - -	性紅斑 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	性 発 し ん - - 1.25	パンギーナ	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 1.00	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			
北 上京 左京 中京	ンザ (※1)	ルス感染症	膜熱	血性レンサ球菌咽 - 0.50 0.33	性 胃腸炎 1.00 1.00 2.50 0.33	- - -	口 病 - - 0.33	性紅斑 ————————————————————————————————————	性 発 しん - - 1.25	パンギーナ	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 1.00	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			
北 上京 左京 中京 東山 山科 下京	ンザ(※1)	ルス感染症	膜熱	血性レンサ球菌咽 - - 0.50 0.33	性 胃腸炎 1.00 1.00 2.50 0.33 2.00	- - - -	口 病 - - 0.33	性紅斑 ————————————————————————————————————	性 発 し ん - 1.25 - 0.50	パンギーナ 0.67	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 1.00	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			
北 上京 左京 中京 東山 山下京 南	ンザ (※1) 	ルス感染症 	膜熱	血性レンサ球菌咽 - - 0.50 0.33 - 1.00	性胃腸炎 1.00 1.00 2.50 0.33 2.00 2.40	- - - -	口 病 - - 0.33 - -	性紅斑 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	性 発 しん - - 1.25 - 0.50 1.20	パンギーナ 0.67	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 1.00	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			
北 上京 左京 中京 東山 山科 下京	ンザ (※1) 	ルス感染症 	膜熱	血性レンサ球菌咽 - - 0.50 0.33 - 1.00	性胃腸炎 1.00 1.00 2.50 0.33 2.00 2.40 -	- - - - -	口 病 - - 0.33 - -	性紅斑 ————————————————————————————————————	性発しん - - 1.25 - 0.50 1.20 0.50	パンギーナ 0.67	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 1.00	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			
北 上京 左京 中京 東山 山下京 南	ンザ (※1)	ルス感染症	膜熱	血性レンサ球菌咽 - - 0.50 0.33 - 1.00 - 1.33	性胃腸炎 1.00 1.00 2.50 0.33 2.00 2.40 - 2.00	- - - - -	口 病 - - 0.33 - - - 0.33	性紅斑 ————————————————————————————————————	性発しん 一 一 1.25 一 0.50 1.20 0.50 0.33	パンギーナ	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			
北 上京 左京 中京 東山 山下 南 右京	ンザ(※1)	ルス感染症	膜熱	血性レンサ球菌咽 - - 0.50 0.33 - 1.00 - 1.33 2.80	性胃腸炎 1.00 1.00 2.50 0.33 2.00 2.40 - 2.00 0.60	- - - - - -	口 病 - - 0.33 - - 0.33	性紅斑 ————————————————————————————————————	性発しん 一 一 1.25 一 0.50 1.20 0.50 0.33 0.60	パンギーナ - - - 0.67 - - - - 0.40	性耳下腺炎	性出血性結膜炎	行性角結膜炎 - 1.00 1.00 - 3.00	菌性髄膜炎 (※2)	菌性髄膜炎	プラズマ肺炎	ラミジア肺炎 (※3)	腸炎 (※4)			

^{※1} インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

^{※3} クラミジア肺炎はオウム病を除く。 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第26週

年齢階級,疾病別報告数

2020年6月22日~2020年6月28日

データ入手日:2020年7月1日

京都市	年齢1	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	_	-	-	-	_	_	_	_	_	-	_	-	-	-	-	_	_	_	_
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	_	_	_	_	_	-	_	_	_						
咽頭結膜熱		_	-	_	-	-	-	_	_	_	_	_	-	_	_	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		30	_	_	5	4	1	2	3	2	4	2	3	2	1	1						
感染性胃腸炎		94	1	4	10	5	5	8	6	8	7	2	3	20	5	10						
水 痘	£ \$\delta \cdot \delta \delta \cdot \delta \delta \cdot	1	-	-	-	-	1	-	_	-	_	_	-	_	_	_						
手足口病	年齢3	2	-	_	2	-	-	-	_	_	_	_	-	_	_	_						
伝染性紅斑		_	_	_	-	-	-	_	_	_	_	_	-	_	_	_						
突発性発しん		28	_	5	20	3	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_						
ヘルパンギーナ		5	_	1	1	1	-	_	_	_	1	_	-	1	_	_						
流行性耳下腺炎		_	_	_	-	-	-	_	_	_	_	_	-	_	_	_						
急性出血性結膜炎	左华。	-	_	_	-	1	1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	
流行性角結膜炎	年齢2	5	_	_	-	1	1	_	_	_	_	_	_	_	_	1	2	1	1	_	_	
細菌性髄膜炎 (※2)		-	_	_	-	-	-	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	-				
無菌性髄膜炎		_	-	-	-	-	-	-	_	-	_	_	_	_	_	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	_	-	-	_	-	_	_	_	-	-	-	_	-	-	_	_	_				
クラミジア肺炎 (※3)		_	-	_	_	-	_	_	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		_	-	_	-	-	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_				

年齢階級,疾病別定点当り報告数

	- 79 •																					
京都市	年齢1	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	~5ケ月	~11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	_	_	_	-	-	_	-	-	_	_	_	-	-	-	-	_	-	_	_	_	_
RSウイルス感染症		_	_	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		-	_	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	_	-	0.12	0.09	0.02	0.05	0.07	0.05	0.09	0.05	0.07	0.05	0.02	0.02						
感染性胃腸炎		2.19	0.02	0.09	0.23	0.12	0.12	0.19	0.14	0.19	0.16	0.05	0.07	0.47	0.12	0.23						
水 痘	F Ith o	0.02	_	_	_	-	0.02	-	-	_	_	_	-	-	-	-						
手 足 口 病	年齢3	0.05	_	_	0.05	_	-	_	-	_	_	_	-	-	-	-						
伝染性紅斑		_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	-	-	-						
突発性発しん		0.65	_	0.12	0.47	0.07	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_						
ヘルパンギーナ		0.12	_	0.02	0.02	0.02	_	_	_	_	0.02	_	_	0.02	_	_						
流行性耳下腺炎		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	-						
急性出血性結膜炎	E-100 -	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
流行性角結膜炎	年齢2	0.50	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	0.10	0.20	0.10	0.10	_	_	
細菌性髄膜炎 (※2)		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_				
無菌性髄膜炎		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_				
クラミジア肺炎 (※3)		_	 	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_				
感染性胃腸炎 (※4)		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_				

- ※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
- ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
- ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
- ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

T3203

集計対象:2020年第26週

週,疾病別報告数

データ入手日:2020年7月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	_	1	_	_	ı	_
RSウイルス感染症	_	-	1	1	1	-
咽頭結膜熱	_	1	2	1	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	22	24	28	21	30
感染性胃腸炎	33	46	45	65	74	94
水痘	1	2	5	2	2	1
手 足 口 病	5	5	6	8	8	2
伝染性紅斑	2	_	2	_	-	-
突発性発しん	15	22	25	15	10	28
ヘルパンギーナ	1	1	4	2	2	5
流行性耳下腺炎	1	1	2	1	3	_
急性出血性結膜炎	_	_	_	_	ı	-
流行性角結膜炎	1	3	_	2	1	5
細菌性髄膜炎 (※2)	_	_	-	_	I	_
無菌性髄膜炎	_	-	1	1	1	_
マイコプラズマ肺炎	_	_	_	_	-	_
クラミジア肺炎 (※3)	_	-	_	-	-	_
感染性胃腸炎 (※4)	_	_	_	_	_	_
合 計	72	104	115	123	121	165

週,疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	_	0.01	1	1	-	_
RSウイルス感染症	_	1	1	ı	-	_
咽頭結膜熱	_	0.02	0.05	ı	-	_
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.30	0.51	0.56	0.65	0.49	0.70
感染性胃腸炎	0.77	1.07	1.05	1.51	1.72	2.19
水 痘	0.02	0.05	0.12	0.05	0.05	0.02
手 足 口 病	0.12	0.12	0.14	0.19	0.19	0.05
伝染性紅斑	0.05	_	0.05	-	_	_
突発性発しん	0.35	0.51	0.58	0.35	0.23	0.65
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.09	0.05	0.05	0.12
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.05	0.02	0.07	_
急性出血性結膜炎	_	1	1	ı	-	_
流行性角結膜炎	0.10	0.30	_	0.20	0.10	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)	_	ı	ı	ı	ı	_
無菌性髄膜炎	_	-	-	ı	_	_
マイコプラズマ肺炎	_	-	-	1	_	_
クラミジア肺炎 (※3)		_	_	_	_	
感染性胃腸炎 (※4)	_	_	_	-	_	_
合 計	1.75	2.64	2.67	3.01	2.89	4.22

^{※1} インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。

^{※2} 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

^{※3} クラミジア肺炎はオウム病を除く。

^{※4} 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。